

H28年度行動障害がある発達障害児者への支援とは アンケート集計結果

資料2-4

H28.10.16開催

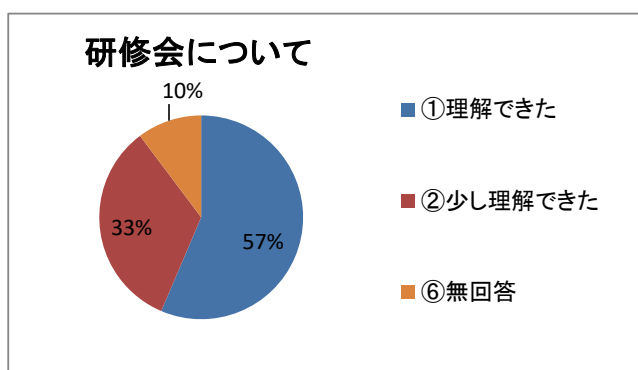
申込人数 41人 参加人数 40人 欠席人数 1名
アンケート回収数 39部 アンケート回収率 98%

●所属についておたずねします。

	児童発達支援センター	放課後等デイサービス	教育機関	福祉サービス事業所	相談機関	入所施設	その他	合計
人数	2	10	1	14	5	4	3	39

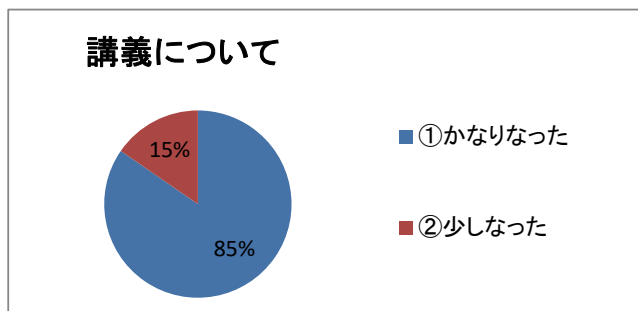
1. 今日の研修会はどうだったか。

	数	%
①理解できた	22	57
②少し理解できた	13	33
③どちらでもない	0	0
④あまり理解できなかった	0	0
⑤全く理解できなかった	0	0
⑥無回答	4	10
合計	39	100



2. 今本先生の講義は参考になったか。

	数	%
①かなりなった	33	85
②少しなった	6	15
③どちらでもない	0	0
④あまりならなかった	0	0
⑤全くならなかった	0	0
⑥無回答	0	0
合計	39	100

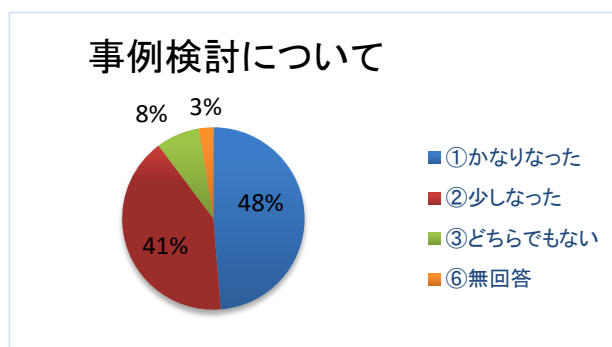


- ・利用者さんのことを思い出しながら、今後の対処法など考えながら聞く事ができた。
- ・活動の終わりをはっきりさせる。(腹筋運動の例)など、気がついたら、その目的が達成されていたという工夫が目から鱗だった。
- ・行動障害の原因を追究して支援に生かしていきたい。
- ・行動問題について、手続きや流れがわかりやすかった。
- ・1つの問題について、多角的に考える機会になった。
- ・具体的対処方法と、そのメリット、デメリットまで伝えていただけたことで、自分たちで取り組む際のイメージがつきやすかった。
- ・日々の保育の中で、私自身の援助や行動の見直しにもなった。個々に合った環境の提供を慎重に考えるべきだと改めて感じる事ができた。
- ・行動問題は、きっかけに目を向けて予防する取り組みが大切だということが印象的だった。
- ・分かりやすく例をだしていただいた。
- ・行動問題について、よく理解できた。
- ・発達障害をめぐる対応で、ABA、ABC分析、その他の用法を、知らせてもらえた。
- ・行動障害を軽減するにあたり、行動分析を行う方法を通し、自分自身のアプローチ法等を見直す機会になった。
- ・実際の事例検討で、色々な方法があると分かった。
- ・日頃の取り組みを振り返り、理論的に整理するきっかけとなった。具体的にケースを想定して聞く事ができた。
- ・行動問題の対処法の4つのアプローチを実践していきたいと思った。
- ・叱責、注意の与え方でその子以外の影響をもっと考えていけないといけないと思った。
- ・ABCの手法がわかりやすく説明していただき、大変勉強になった。(6)
- ・強化の法則、弱法の法則は、実際に私の施設にいる子どもたちのことが当てはまり講義の内容が入りやす

かった。講義でもあったように、腹筋運動の例を肥満気味の子どもがいるので取り入れていこうと思った。
 ・対処法の選択の4つのアプローチは、今後の支援に大変役立った。利用者の中に、成人の発達障害の方が
 多いのでよかった。
 ・行動分析を学ぶ機会となり、良かった。もっと聞いていたいと思った
 ・以前も今本先生の講義を受けたことがあり、好子、嫌子の発生、消失での影響等が分かりやすく、すぐ頭に入
 った。
 ・今まで問題行動のある利用者に感情でぶつかっていた。行動を分析しようと思うだけでも、こちらが冷静に
 なれるような気がする。
 ・行動障害をABCを使って分析する事で、行動の原因が理解でき、そこから支援を行うという基本的な所を
 再確認することができた。
 ・行動障害がある方、支援員が行動障害の要因になっている方等を分析することで、その方や周りの人が、
 どちらも穏やかに過ごせるのだと思った。
 ・好子、嫌子という始めて耳にした用語について、わかりやすく説明していただき、具体例もあげていたので、早速
 取り入れて支援していきたいと思った。
 ・具体的な対応手法を詳しく聞けたこと。分析シートなどの活用も・・・。
 ・きちんと理解できてなかったもので、参考になった。
 ・ABCモデルに基づいた行動問題対処法について、分かりやすい説明で理解できた。行動は周りの環境を受けて、
 環境の中には、職員の声かけや対応も含まれるというので、自分の行動を見直す機会にもなった。

4.事例検討は、参考になったか。

	数	%
①かなりなった	19	48
②少しなった	16	41
③どちらでもない	3	8
④あまりならなかった	0	0
⑤全くならなかった	0	0
⑥無回答	1	3
合計	39	100



・行動問題の手がかり→問題行動→結果→行動の原因の重要性を知る。
 ・本人の問題に対処する際に、さまざまな情報が必要になること、情報収集や支援の方策について、考える事が
 できた。
 ・様々な視点から意見があり、勉強になった。予防のための取り組みという視点について、改めて大切な事だと
 実感した。
 ・事例を通し、行動が起こり得る前に、どう対処していくか自分の考えだけでなく、様々な意見を聞く事ができた。
 ・恥ずかしかったが、色々な良い考えを聞く事ができ、勉強になった。
 ・実際に記入する事で、自己の理解度を如実に実感させられた。
 ・正解は、1つでないと思った。手段も強化や誘発につながるのではないかと考えさせられた。
 ・問題に対しての考え方やプロセスの進み方など、原因追究から問題解決の方法を学べた。
 ・実際の事例を通して、ABCの手法を体験することができて、良い研修だった。
 ・グループでのいろいろな意見が出て、すごく参考(勉強)になった。(7)
 ・実際に考えて見る事は、良いことだと思った。実践することで身につく事が分かった。
 ・家の中での対応だが、1つの行動をより細かく分析すると、色々と見えてくるものだと感じた。
 ・対応法を話し合う事で、色々な意見を聞く事ができ、様々な対応を話し合えた。
 ・行動問題の原因のまとめ方と、対応を考えるシートの使い方が分かった。
 ・事例について、深く様々な参加者の意見を聞く事ができ、色々な視点から考える機会になった。
 ・午前中の講義の内容を具体的に実践できてわかりやすかった。
 ・提供された情報をもとにシートを用いて対応法を考える事の難しさと、意義が理解できた。
 ・余暇で本人と関わることがあるので、参考になった。